

平成 26 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO
 代 表 者 名 代表取締役 筒 井 公 久
 社 長
 (コード番号 6417 東証第 1 部)
 取 締 役
 問 合 せ 先 専務執行役員 石 原 明 彦
 管 理 本 部 長
 (TEL. 03-5778-7777)

平成 26 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 5 月 9 日に公表した平成 26 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

[平成 26 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正]

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	200,000	32,000	34,000	25,000	267.46
今回修正予想 (B)	160,000	28,000	30,000	23,000	246.06
増減額 (B - A)	△40,000	△4,000	△4,000	△2,000	—
増減率 (%)	△20.0	△12.5	△11.8	△8.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	104,150	7,023	9,488	5,853	62.62

[修正の理由]

当社グループの主要事業であるパチンコ機関連事業ならびにパチスロ機関連事業における当第 3 四半期以降の販売が当初計画を下回る見通しとなり、公表した業績予想の達成は困難な状況と判断したためであります。

パチンコの販売市場につきましては出荷台数の減少が続く厳しい状況にあります。当社グループでは、当第 3 四半期以降において新規コンテンツや斬新なゲーム性を採用した商品を中心に投入してまいりましたが、パチンコの関心が競合するヒットシリーズなどの定番商品に集中したため、販売を伸ばすことができませんでした。

パチスロの販売市場につきましては引き続き堅調に推移しており、出荷台数は前年と同水準を維持しています。反面、パーラーでは当初の購入台数を抑え、設置後のファン人気を見極めた上で追加を検討する動きが強まっているため、当社グループの直近の販売においてもパーラー1店舗あたりの導入台数は減少しており苦戦を強いられています。

このような状況を勘案し、パチンコの予想販売台数を373千台から311千台、パチスロの同台数を180千台から116千台に変更しております。

なお、期末配当につきましては当初予想の1株当たり75円（年間配当150円）を変更する予定はございません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上